



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2013年11月15日発行

Contents

わがまちSai発見……………1,2

本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界……………3

図書館の本を大切に！ ハロー！来・ぶ・ら・り 桜図書館……………4

わがまち

はっけん

Sai 発見

行楽の秋！

大宮公園を歩く

今回紹介する大宮公園は氷川神社に接して広がる大きな公園です。その歴史は古く、100年以上も昔に開設されました。



大宮公園の歴史

明治16（1883）年、県下初の鉄道である現在の高崎線が開通しましたが、大宮には駅ができませんでした。この事態を打破するため、白井助七などの地元有力者が大宮駅設置運動や大宮公園設置運動を展開したのです。そして、運動の甲斐あって大宮駅が設置され、あわせて氷川公園（現・大宮公園）が明治18（1885）年に開園しました。現在は日本桜名所百選に数えられていますが、当時は桜が少なく、アカマツ林の中にハギやススキが生ずる野趣に富んだ公園だったと伝えられています。

有志からの寄附金と伐採した樹木の売払い代金を充ててなんとか開園したものの、維持管理費用の調達は困難でした。そのため、公園の大部分は旅館・料理屋・園芸業者等の民間事業者に貸し出されることになりました。旅館・料理屋などができたことで、公園は東京から気軽に行ける行楽地として親しまれ、多くの文人も訪れたのです。

明治30年代後半には、公園の拡張整備の動きが始まりました。関東大震災や大恐慌の影響から工事は遅れましたが、昭和8（1933）年に児童遊園地を開設したのを皮切りに、野球場、サッカー場など運動施設がメインとなる現在の公園へと姿を変えていったのです。



大宮公園と文人

大宮公園には、多くの文人が訪れました。その一部を

紹介します。

◆正岡子規・夏目漱石

明治24（1891）年、大学生だった正岡子規は試験勉強のため割烹旅館「万松楼」に滞在しました。子規は滞在中、「ふみこんで帰る道なし萩の原」という俳句を残しています。

また、子規は友人の夏目漱石に「すぐ来い」と手紙を書き、万松楼に招きました。漱石はその時の思い出を雑誌『ホトギス』に載せています。

◆森鷗外

雑誌「昂」に連載した小説『青年』の中で、主人公の青年が友人とともに訪れています。作中では、当時の大宮公園は「落葉の散らばっている、幅の広い道に、人の影も見えない」と書かれており、当時の風景の一端をうかがい知ることができます。

この他にも田山花袋が『一日二日の旅東京の近郊』の中で「大宮公園は静かで好い処だ」と書いています。また、樋口一葉、永井荷風、国木田独歩、寺田寅彦らがそれぞれの作品で取り上げています。

大宮公園を取り上げた作品

正岡子規	「墨汁一滴」「病床六尺」「寒山落木」
樋口一葉	「断片・書入れ」「にっ記」
永井荷風	「野心」「歓楽」
国木田独歩	「第三者」
寺田寅彦	「写生紀行」
田山花袋	「一日二日の旅東京の近郊」「東京近郊一日の行楽」

大宮公園内の施設

現在の大宮公園内にある各施設を紹介します。

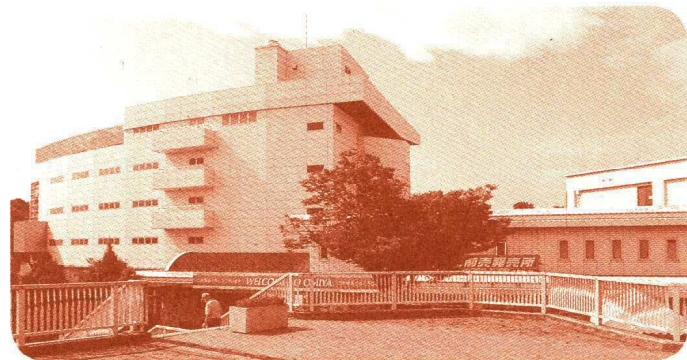
① 野球場

昭和9（1934）年に完成。同年日米野球が行われ、スタルヒン、ベーブ・ルース、ルー・ゲーリックなどが活躍しました。平成4（1992）年に新球場となり、埼玉西武ライオンズ戦が行われるとともに、県高校野球の聖地として漫画「おおきく振りかぶって」などの舞台にもなっています。

② 陸上競技場兼双輪場

昭和15（1940）年に予定されていた東京オリンピックの会場及び練習場として建設されましたが、国際情勢悪化に伴いオリンピックは開催されませんでした。

第二次世界大戦中には、高射砲陣地として改装する旨の申し入れを軍部から受けましたが、陸上競技関係者は「国土を守るのが軍の任務ならば、競技場を守るのはスポーツマンの使命である」と頑として応じませんでした。結局軍部が折れ、高射砲陣地は寿能城跡に建てられることになり、競技場は守られたのです。昭和24（1949）年には東日本初となる競輪が開催され、現在に至っています。



現在の陸上競技場兼双輪場

③ NACK5スタジアム大宮（大宮公園サッカー場）

日本初のサッカー専用スタジアムとして昭和35（1960）年に完成し、昭和39（1964）年の東京オリンピックの会場の一つとなりました。平成14（2002）年の日韓ワールドカップの際には優勝したブラジル代表の練習会場になり、壁に選手のサインが残されています。

また、漫画「キャプテン翼」では全国中学生サッカー大会のメイン会場として描かれており、平成19（2007）年の改修時には作者の高橋陽一氏からメッセージが寄せられ、市報にも掲載されました。現在は、大宮アルディージャのホームスタジアムとして全国のサッカーファンに親しまれています。

④ 小動物園

戦後まもなく、北海道から送られてきた小熊を公園で飼育したのが始まりです。開園60周年を迎えた今年7月には、改修や拡張工事が行われ、カピバラやクマなどの動物をより間近で見ることができるようになりました。

この他にも児童遊園地、県立歴史と民俗の博物館などが併設されています。



児童遊園地（万松楼跡地）

風景を楽しむもよし、文学の世界に思いを馳せるもよし、各施設を利用するもよしと様々な楽しみ方のできる大宮公園。一度足を運んではいかがでしょうか。

【参考文献】

- ・埼玉文芸家集団 刊行委員会『荒川流域の文学 埼玉をめぐる人と作品』さきたま出版会（埼玉文芸叢書）2006年
- ・秋山喜久夫『大宮文学散歩』丸岡書店（大宮雑記帳）1976年
- ・大宮市役所『大宮市史 第4巻 近代編』大宮市役所 1982年
- ・大宮市『大宮のむかしといま』大宮市 1980年
- ・さいたま文学館『企画展 大宮公園と文学者たち』さいたま文学館 1999年
- ・「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」整備推進事業実行委員会『ミュージアムヴィレッジ大宮公園 連続講座ブックレット』『ミュージアムヴィレッジ大宮公園』整備推進事業実行委員会 2012年
- ・さいたま市立教育研究所「さいたま文学散歩」さいたま市教育委員会 2008年
- ・夏目漱石『漱石全集 第16巻』岩波書店 1967年
- ・樋口一葉『樋口一葉全集』筑摩書房 1979年



本棚 ぶらり

『青年』

もりおがいで 森鷗外著 新潮社 2010年

「わがまちsai発見」でもご紹介した『青年』は森鷗外初の長編小説です。

作家を目指して上京した「理想主義の看板」のような目を持つ青年・小泉純一は、同郷の友人に誘われていった青年クラブで大村荘之助に出会います。博識な大村と話すことで純一の精神は成長していきます。

純一を大宮公園に誘ったのは大村です。作家を目指しながらまだ何も書いていないという純一に「起とうと思えば、いつでも起てるのだからね」と励まします。

大村と交流を深める一方で、純一は劇場で出会っ



た「切れ目の長い黒目勝の目に、有り余る媚がある」坂井れい子未亡人と関係を深めていきます。そして、彼女との別れを決意したとき、純一は「今何か書いてみたら、書けるようになっているかもしれない」と感じるのです。

この小説には「毛利鷗村」という人物が登場します。「台所で炭薪の小言でも言っているのだろう」と純一に想像されている鷗村は、鷗外が自らを戯画的に書いたものです。他にも夏目漱石を「拵石」、下田歌子を「高島詠子」というように実在の有名人をモデルにした人物が登場します。鷗外の作品には珍しいもので、作品にユーモアを添えています。

大人も楽しめる



絵本の世界

第5回

『月光公園』

あずまいつこ 東 逸子絵 おきのもとこ 宙野素子文 三起商行（ミキハウス）
1993年

今回紹介する絵本『月光公園』は、「夜の公園」が幻想的な世界の入り口となっている作品です。

この本の最大の魅力は、東逸子のエッチング（銅版画）による素晴らしい絵です。静謐なトーンの画面に幻想的な光に包まれた人物が浮かびあがり、読者の心に訴えてきます。



この他にも、児童文学には公園が舞台であったり、物語の重要な入り口となっていたりする作品が数多くあります。ぜひお手に取ってご覧ください。



《公園が出てくる、公園が舞台となっている作品》

○『かもさんおとあり』ロバート・マックロスキー文・絵 福音館書店 1965年

○『あさえとちいさいもうと』筒井頼子作、林明子絵 福音館書店 1982年

○『こうえんのさんぽ』アンソニー・ブラウン 作・絵 佑学社 1980年

○『こうえんのいちにち』シャーロット・ゾロトウ文、H・A・レイ絵 文化出版局 1989年

○『ふたごのひよちゃんびよちゃん はじめてのすべりだい』パレリー・ゴルパチョフ作・絵 徳間書店 2004年



図書館の本を大切に!

秋も深まり、本を手にとり、じっくりと読書を楽しむ最適の季節となりました。図書館での新たな本との出会いを期待されている方もいらっしゃるでしょう。

ただ、残念なことですが、近年のさいたま市では、以下に挙げるような本の破損や汚れが多く見受けられるようになりました。

- ボールペンや蛍光ペンで書き込みがしてある
- 折りが入ったページが数か所ある
- 紙面の一部、あるいはページごと切りとられている
- 水濡れや、飲み物をこぼした跡がある
- 犬などの噛み跡がある
- 髪の毛や食べ屑がページの間に挟まっている

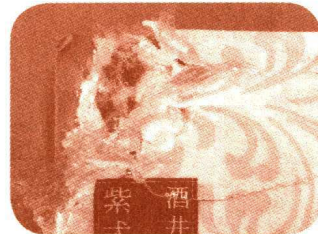
図書館では、このような本の破損や汚れがひどい

場合には、原則として現物弁償をさせていただいております。

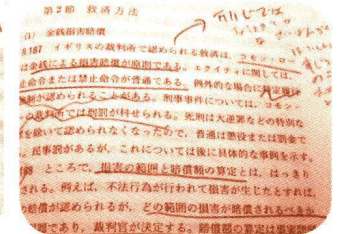
借りた本が自分の手元にあるとき、本は個人の持ちもののように感じられがちです。

「汚れた本は読み進むうちに心がすさんでくる。」という新聞の投書も寄せられています。

図書館にある資料は、市民の皆さまの貴重な財産です。全ての皆さまに気持ちよく利用していただけるよう、次に借りられる方のことも考えて、本は大切にお扱いください。



犬の噛み跡がある資料



アンダーライン・書き込みがある資料

ハロー!
来・ぶ・ら・り

第20回

桜図書館

桜区役所、市民交流施設があり、地域の人々の交流の場となっているプラザウエスト。内部は吹き抜けとなっていて自然光溢れる開放的な空間です。桜図書館はその施設の一画にあります。平成17年7月に開館した、桜区では初めての図書館です。

図書約18万6千冊、雑誌約200誌、CD約1万2千枚などを所蔵し、総資料数は市内6番目の多さです。

館内には、桜に関する資料を集めた「桜コーナー」を常設しております。また、近くに流れている荒川を中心に、川に関する資料を集めた「川コーナー」も常設しております。

そして、資料の閲覧や調べものに利用できる社会人室や、持ち込みのパソコンを使用して調べものができる情報学習室、親子読み聞かせ室、調べ学習室、畳コーナーなどあわせて約250の座席があります。

また、インターネットに接続できるパソコンが5台ありますので、皆さまの調べものにお役立てください。

図書館の2階にはガラス壁を利用した展示ケースを設けています。個人やグループの方々の作品が月替わりで展示されていますのでぜひご覧ください。

催しものとして、毎週水曜日に「おはなし会」と月に2回「赤ちゃんおはなし会」を行っています。この他にも、ボランティアグループによるイベントも開催されています。ご家族そろってお楽しみいただける場所となっておりますので、どうぞお立ち寄りください。



桜図書館の入口

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 秋の深まりを感じる時期になりました。季節ごとに様々な姿を見せる自然豊かな大宮公園を散策して、季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

次回発行予定：2014年3月15日（年3回発行）

